



平成24年9月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成24年4月27日

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 内藤 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	3,853	11.4	805	43.0	660	46.8	370	36.3
23年9月期第2四半期	3,457	—	563	—	450	—	271	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	8,147.22		8,110.86	
23年9月期第2四半期	5,979.20		5,946.32	

(注)23年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、平成23年9月期第2四半期より連結財務諸表非作成会社となったため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年9月期第2四半期	18,556		6,096		32.6	
23年9月期	18,323		5,768		31.3	

(参考)自己資本 24年9月期第2四半期 6,050百万円 23年9月期 5,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
24年9月期(予想)	—	0.00	—	1,300.00	1,300.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	8,000	13.8	1,460	22.1	1,190	27.7	690	26.0	15,179.18	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
② ①以外の会計方針の変更	：無
③ 会計上の見積りの変更	：無
④ 修正再表示	：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	47,532 株	23年9月期	47,532 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	2,075 株	23年9月期	2,075 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	45,457 株	23年9月期2Q	45,457 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）における我が国の経済は、欧州債務危機の再燃・原油価格高騰・電気料金引き上げの影響等の先行き不安要素があるものの、東日本大震災にかかる財政支出・底堅い個人消費など明るさが見えてきた状況にあります。

当社の属する駐車場業界も、同様に着実な回復を見せております。

このような中で、当社は、引き続き積極的な営業活動を行い、駐車場の新規開設を進めるとともに、既存駐車場の採算性向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間においては88件909車室の新規開設、28件352車室の解約があり60件557車室の純増となり、3月末現在979件14,007車室が稼働しております。

以上により、当第2四半期累計期間の売上高は3,853百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益805百万円（同43.0%増）、経常利益660百万円（同46.8%増）、四半期純利益370百万円（同36.3%増）を計上いたしました。

当社の具体的な駐車場形態毎の状況は以下のとおりであります。

(賃借駐車場)

当第2四半期累計期間においては59件544車室の純増となり、3月末現在においては879件10,442車室が稼働しております。主に既存駐車場の売上が堅調に推移したことにより、当第2四半期累計期間の売上高は3,045百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

(保有駐車場)

3月末現在において100件3,565車室が稼働しております。売上高は702百万円（同5.6%増）となり、当第2四半期累計期間においては3件41車室（そのうち2件28車室は4月以降オープン予定）を取得しております。

(その他売上)

その他売上に関しては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上及び駐輪場売上により、売上高は104百万円（同14.5%増）となりました。

当事業年度における駐車場形態毎の販売実績は以下のとおりです。

駐車場形態	第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	前年同期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	前事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）
賃借駐車場	3,045	2,701	5,488
保有駐車場	702	665	1,348
その他売上	104	91	195
合計	3,853	3,457	7,032

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は18,556百万円となり、前事業年度末から232百万円増加しました。これは主に土地の増加（124百万円）及びリース資産の増加（135百万円）によるものです。

当第2四半期会計期間末における負債の部は12,459百万円となり、前事業年度末に比べ95百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少（358百万円）及びリース債務の増加（100百万円）によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の部は6,096百万円となり、前事業年度末に比べ328百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加（315百万円）によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の31.3%から32.6%となりました。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前事業年度末に比べ43百万円減少し、1,575百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は前年同四半期に比べ570百万円増加し、719百万円となりました。これは主として、税引前四半期純利益652百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は前年同四半期に比べ250百万円減少し、268百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出234百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は前年同四半期は590百万円でしたが、当第2四半期累計期間は財務活動に494百万円使用いたしました。これは主として、短期借入金の返済による支出112百万円、長期借入金の返済による支出507百万円によるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

今後につきましても、新規駐車場においては柔軟な契約形態及び精緻な収支予測に基づいた着実な案件の獲得、既存駐車場においては引き続き堅調な売上の推移が見込まれます。また、金融機関及び不動産会社等のネットワークを生かし、新たな保有駐車場の取得を目指してまいります。

以上を踏まえまして、平成23年11月1日公表の通期業績予想を基本としながら、当第2四半期の実績値を加味し、売上80億円、営業利益14億6000万円、経常利益11億9000万円、当期純利益6億9000万円に通期の業績予想を修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,670	1,629
売掛金	55	50
前払費用	340	351
その他	34	34
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	2,099	2,065
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	727	788
土地	13,612	13,737
リース資産（純額）	885	1,020
その他（純額）	496	469
有形固定資産合計	15,722	16,015
無形固定資産	63	55
投資その他の資産	439	420
固定資産合計	16,224	16,491
資産合計	18,323	18,556
負債の部		
流動負債		
買掛金	76	78
1年内償還予定の社債	40	40
短期借入金	—	88
1年内返済予定の長期借入金	984	919
未払法人税等	163	291
賞与引当金	24	26
その他	448	504
流動負債合計	1,736	1,948
固定負債		
社債	410	390
長期借入金	9,131	8,772
リース債務	715	816
その他	562	531
固定負債合計	10,818	10,510
負債合計	12,555	12,459

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,576	1,576
資本剰余金	1,606	1,606
利益剰余金	2,886	3,201
自己株式	△100	△100
株主資本合計	5,968	6,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	△1
繰延ヘッジ損益	△234	△233
評価・換算差額等合計	△234	△234
新株予約権	33	46
純資産合計	5,768	6,096
負債純資産合計	18,323	18,556

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	3,457	3,853
売上原価	2,489	2,627
売上総利益	968	1,225
販売費及び一般管理費	404	420
営業利益	563	805
営業外収益		
受取利息	32	0
受取保険金	1	0
その他	3	0
営業外収益合計	37	0
営業外費用		
支払利息	145	141
その他	5	3
営業外費用合計	150	145
経常利益	450	660
特別利益		
固定資産売却益	—	0
抱合せ株式消滅差益	40	—
特別利益合計	40	0
特別損失		
固定資産除却損	11	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
その他	5	—
特別損失合計	32	8
税引前四半期純利益	458	652
法人税等	186	282
四半期純利益	271	370

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	458	652
減価償却費	126	166
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1	2
受取利息及び受取配当金	△33	△0
支払利息	145	141
固定資産除却損	11	8
抱合せ株式消滅差損益（△は益）	△40	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
売上債権の増減額（△は増加）	△19	5
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△72	△9
仕入債務の増減額（△は減少）	24	2
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△23	30
その他	19	13
小計	609	1,012
利息及び配当金の受取額	33	0
利息の支払額	△147	△145
法人税等の支払額	△346	△148
営業活動によるキャッシュ・フロー	148	719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△3
有形固定資産の取得による支出	△172	△234
敷金及び保証金の差入による支出	△11	△29
貸付けによる支出	△330	—
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△518	△268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600	200
短期借入金の返済による支出	△50	△112
長期借入れによる収入	730	84
長期借入金の返済による支出	△571	△507
社債の償還による支出	△10	△20
リース債務の返済による支出	△55	△84
配当金の支払額	△52	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	590	△494
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	219	△43
現金及び現金同等物の期首残高	1,273	1,618
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	321	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,814	1,575

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社の事業は、駐車場の開拓及び運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。